

農業農村整備事業の主な整備とその効果

～ 農作物の生産性を高めるための整備(1)～

用水施設の整備

・ため池や用水路を新設または改修し、米の生産に必要な水を安定供給します。



< 用水路 >
農地に水を運ぶための水路

< 分水ゲート >
用水路の水を他の水路へ流したり量の調整を行う



・水田の代かきや冷害に備える深水の際に必要なかんがい用水の不足を解消します。



畑地かんがい施設の整備

・畑やハウスまで用水施設を整備し、畑作物や野菜などに必要な水を安定供給します。



多孔管によるハウス内かん水



リールマシンによる撒水

・畑の干ばつを防止し、防除などに必要な水を使いやすくします。



排水路の整備

・排水路を新設または改修し、降雨による湛水被害や湿害を防ぎます。



・降雨後の湛水被害を防止します。
・地下水を排除して、作物にとって良好な生育環境とします。



暗きょ排水の整備

・ほ場の地下に土管やプラスチック管、カラマツチップや砂利など通水性や透水性のよい資材を配置して雨水や地下水を速やかに排除します。



暗きょ施工済

暗きょ未施工



施工の状況

・降雨後にほ場が乾くまでの時間を短縮し、適期作業を可能にします。
・地下水位上昇をおさえ、作物にとって良好な生育環境とします。



農業農村整備事業の主な整備とその効果

～農作物の生産性を高めるための整備(2)～

ほ場(田や畑)区画の整備

・ほ場を拡大及び整形して、大型農作業機械が効率よく作業できるようにします。



・農作業時間の短縮により、生産コストを低減します。
・ほ場条件の均一化により、大きな面積での営農を可能とします。

土層改良(客土)

・農地に土を搬入し、土壌条件を改善します。



・良質な土壌を搬入することにより、単位収量の増加、品質の向上、作物品目の拡大など生産性を向上させます。

土層改良(除れき)

・作物の生育などに支障となる石れきを除去し、ほ場の土壌条件を改善します。



・石れきを除去することにより、単位収量の増加、品質の向上、作物品目の拡大など生産性を向上させます。

草地の整備

・草地のでこぼこを均したり、傾斜の緩和を図ることにより、牧草の生産性を向上させます。



草地を整備することにより牧草の単位収量の増加や収穫作業などの効率を向上させます。

農業農村整備事業の主な整備とその効果

～ 農村の生活を快適にするための整備 ～

農道の整備

・道路の幅を広げたり舗装することにより、農産物の輸送や大型農作業機械の移動を効率よくできるようにします。



整備前
(砂埃、荷いたみ)



整備後

・大型トラックの利用により、大量・高速な農産物輸送を可能にします。
・砂利・粉じんの飛散や車の振動を防止し、農作物の生産や輸送の際の品質低下を緩和します。

営農飲雑用水の整備

・取水、浄水、配水などのための施設や管路を整備し、営農や生活の必要に応じた水を供給します。



浄水場



水管橋

・家畜用水などの安定的な利用を可能とします。
・飲用水及び生活用水として安全な水を確保します。

畜産環境の整備

・畜産農家から排出される家畜ふん尿を集めて堆肥にするための施設などを整備し、農村の環境を保全するとともに、資源のリサイクルを図ります。



堆肥舎



・家畜ふん尿を速やかに堆肥化することにより、家畜ふん尿の野積みによる悪臭や液汁の発生を緩和・防止します。
・家畜ふん尿を良質な堆肥とし牧草地などに肥料や土壌改良資材として還元します。

コミュニティ施設の整備

・農業者の営農打合せや地域住民の研修・余暇活動の場となる施設を整備し、地域農業振興や地域コミュニティ向上への活動の拠点とします。



地域活動の
拠点施設



トマトジュース作り

・農業者や地域住民、さらには外部の人たちが自由に集い交流する場とします。
・農業者や地域住民が農業技術や生活技術を高めるとともに、余暇を通してリフレッシュする場とします。

農業農村整備事業の主な整備とその効果

～ 農地や農業用施設を保全するための整備 ～

防災ダムの整備

・ダムの新設や改修を行い災害を防止します。



・洪水による農地や農業用施設被害を未然に防止し、安定した農業経営を確保します。

ため池等の整備

・機能が低下した、ため池や用排水施設を整備し機能の回復を行います。



・農地や農業用施設の災害を未然に防止します。

地すべりの対策

・表面水や地下水の排除、土留などを実施し被害の防止を行います。



・地すべりによる被害を防止し、安定した農業経営を維持します。

海岸保全施設の整備

・海岸に護岸、消波、離岸堤等を設置し浸食の防止を目指します。



・海岸侵食から農地、農作物を守ります。
(国土保全)

農業農村整備事業の主な整備とその効果

～その他の整備～

生態系に配慮した整備

・自然生態系を保全管理することを目的とした整備を行います。



・農村に存在する自然生態系の維持や管理を適正に行うことにより農村環境の保全を図ります。

地域用水環境の整備

・水路やため池等の農業水利施設を対象に多面的機能の維持増進を図るための整備を行います。



魚道

・農村空間の質的向上と農業水利施設の維持・保全を図ります。

鹿柵の整備

・鹿の農地への進入を防ぐための柵を設置します。



鹿による食害

柵の設置

・鹿等の野生動物による食害や踏み荒らしによる被害を防止します。

災害による被害の復旧

・洪水、地すべり、台風や地震等の異常な自然現象により被災した農地や施設を元通りにします。



被災した頭首工
(取水施設)

整備後

・降雨後にほ場が乾くまでの時間を短縮し、適期作業を可能にします。
・地下水位上昇をおさえ、作物にとって良好な生育環境とします。